

四万十市産業振興計画Ver.2及びまち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標1）のKPI進捗状況

- 【産業振興計画】
- 1 農業分野：豊かな食を育み地域で暮らし稼げる農業
  - 2 林業分野：山で若者が働く、全国トップクラスのヒノキ産地
  - 3 水産業分野：次世代へつなぐ資源回復と安定し魅力ある水産業
  - 4 商工業分野：顧客に選ばれる商工業と賑わいの創出
  - 5 観光分野：地域の誇りが人を誘う、おもてなしの“環光”地

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】  
基本目標1：地産外商により安定した雇用を創出する

1 全体目標値

No.	評価指標	基準値	目標値(R6)	H29若しくは直近値	H30	H31(R1)	R2	R3	達成率等	直近傾向	増減要因等	備考
1	①市内総生産額	1,138億6,000万(H28) 1,132億7,700万(H30遡及値)	1,150億円以上	1,142億2,600万円	1,147億7,100万円					↗	一次産業、建設業が上昇	産振Ver.1では1,100億円以上
2	②社会動態	▲88.8人 平成27年～平成30年の平均値	令和2年から令和6年までの社会増減をプラスにする	▲7人	▲206人	▲90人	▲55人			↗	H27、H30、H31は、好景気や人手不足で都市部に転出者が増加したと推測	産振Ver.1では今後10年間の社会増減をプラスにする

2 分野別目標値

No.	分野	評価指標	基準値	目標値(R6)	H29若しくは直近値	H30	H31(R1)	R2	R3	達成率等	直近傾向	増減要因等	備考
1	農業分野	①農業産出額	34億円(H26)	45億円以上	43億1,000万円	41億8,000万円	34億4,000万円				↘		
		②認定農業者数	127人(H25)	150人以上	137人	139人	133人	131人				⇒	
2	林業分野	③原木生産量	47,000m <sup>3</sup> (H24)	75,000m <sup>3</sup> 以上	71,945m <sup>3</sup>	55,025m <sup>3</sup>					↘		バイオマス量含む
		④木材・木製品製造品出荷額等	7億5,000万円(H24)	9億円以上	804,960千円	837,480千円	836,560千円					⇒	
3	水産業分野	⑤内水面漁業漁獲量	56t(H24)	50t以上	49.0t	37.0t	29.0t				↘		
		⑥海面漁業漁獲量	30t(H24)	15t以上	14.0t	13.0t						↘	
4	商工業分野	⑦小売・卸売業年間商品販売額	798億1,000万円(H18)	750億円以上	690億7100万円(H27)						↗		
		⑧製造品出荷額等	92億8,000万円(H24)	160億円以上	140億0,800万円	155億1,200万円	140億0,200万円					↘	
5	観光分野	⑨観光入込客数	125万6,000人(H25)	130万人以上	1,193,182人	1,180,466人	1,194,938人	1,004,518人			↘		
		⑩市内宿泊者数	21万1,000人(H25)	25万人以上	196,524人	222,115人	236,426人	183,138人				↘	

3 個別目標値

1 農業分野

No.	評価指標	基準値	目標値(R6)	H29若しくは直近値	H30	H31(R1)	R2	R3	達成率等 ※最新値と比較	直近傾向	増減要因等	備考
1	ぶしゅかん新植面積	0.9ha(H26)	25.0ha	9.7ha	10.9ha	11.7ha	13.0ha			↗		
2	ぶしゅかん生産量	13.0t(H26)	81.0t	18.0t	28.1t	21.2t	26.7t	29.1t		↗		
3	ゆず栽培面積	42.5ha(H26)	45.0ha	44.1ha	44.0ha	44.0ha	44.1ha			⇒		
4	ゆず生産量	445.0t(H26)	445.0t	553.0t	377.0t	432.0t	541.0t			↗		集計期間はJAの園芸年度(毎年度9月～8月)
5	栗栽培面積	39.5ha(H26)	60.0ha	45.8ha	48.0ha	49.2ha	52.2ha			↗		
6	栗生産量	15.1t(H27)	60.0t	29.6t	16.1t	19.6t	18.3t	21.0t		↘		
7	米ナス栽培面積	504a(H30)	490a	477a	504a	421a	452a	434a		↗		
8	米ナス生産量	260t(H30)	359t	290.1t	259.9t	277.5t	274t	289t		⇒		
9	しまんと農法米栽培面積	1.20ha(H27)	20.0ha	6.15ha	10.22ha	15.27ha	17.59ha	19.65ha		↗		
10	しまんと農法米生産量	4.92t(H27)	80.0t	23.60t	33.21t	44.3t	52.8t	74.8t		↗		
11	園芸用ハウス整備件数(次世代型ハウス含む)	4件(H27)	5年間で20件	4件	3件	3件	3件			⇒		総合戦略KPIのみ
12	環境制御装置導入農家数	8戸(H27)	5年間で20戸	1戸	4戸	5戸	1戸			↘		
13	次世代施設園芸等への誘致企業数	0社(H27)	1社	0社	0社	0社	0社			⇒		
14	無料職業紹介所紹介件数	82件(H30)	180件	—	82件	97件	23件			↘		
15	生産・出荷支援システム取組件数	5件(H26)	5件を維持	5件	5件	5件	5件			⇒		
16	農林水産等直販所販売額	11億5,600万円(H25)	15億円	13億1,200万円	13億0,100万円	13億4,800万円				↘		
17	学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率	43.3%(H28)	50.0%	35.2%	39.1%	45.7%	36.9%			↗		
18	新規就農者数	3人/年(H27)	3人/年	4人/年	2人/年	3人/年	7人/年			⇒		
19	認定農業者数	127人(H25)	150人	137人	139人	133人	131人			↘		
20	集落営農組織数	20組織(H26)	31組織	33組織	31組織	31組織	31組織			⇒		
21	農業経営を行う法人数	2法人(H26)	8法人	4法人	4法人	5法人	7法人	8法人		↗		
22	ほ場整備実施面積	1,064.9ha(H26)	1,144.0ha	1,112.5ha	1,118.7ha	1,128.3ha	1,142.3ha			↗		
23	中山間地域等直接支払制度の実施農地面積	461.6ha(H26)	521.5haを維持	508.5ha	518.9ha	521.5ha	538.0ha	547.1ha		↗		
24	多面的機能支払制度の実施農地面積	1,513.0ha(H26)	1,446.1haを維持	1,491.6ha	1,487.8ha	1,446.1ha	1,446.1ha	1,403.4ha		↘		
25	環境保全型農業直接支援対策事業参加経営面積	21.0ha(H26)	25ha	23.8ha	21.4ha	25.8ha	30.7ha	32.6ha		↗		
26	環境保全型農業推進事業実施経営体数	11戸(H26)	20戸を維持	24戸	21戸	15戸	0戸	0戸		↘		
27	有機農業等総合対策支援事業実施面積	11.5ha(H26)	6.0haを維持	6.6ha	6.0ha	6.2ha	9.5ha			⇒		

2 林業分野

No.	評価指標	基準値	目標値(R6)	H29若しくは直近値	H30	H31(R1)	R2	R3	達成率等 ※最新値と比較	直近傾向	増減要因等	備考
1	「森の工場」の認定面積	3,586.0ha(H26)	3,900.0ha	3,046.0ha	3,100.0ha	5,361.7ha	3,987.3ha			↘		5年計画のため計画終了から新規策定までに一時的に減少する場合あり
2	市産材利用促進事業の着工戸数	30戸/年(H23～H26平均)	30戸/年	23戸/年	22戸/年	35戸/年	32戸/年			⇒		
3	原木生産量	47,000m <sup>3</sup> (H24)	75,000m <sup>3</sup>	71,945m <sup>3</sup>	55,025m <sup>3</sup>					↘		
4	作業道開設実績延長累計	709,795m(H25)	873,000m	836,368m	864,854m	888,354m				↗		
5	木材・木製品製造品出荷額等	7億5,000万円(H24)	9億円	804,960千円	837,480千円	836,560千円				⇒		
6	シカの捕獲頭数	4,446頭(H26)	4,500頭	2,989頭	2,776頭	2,471頭	2,368頭			↘		
7	特用林産物(しいたけ、木炭)生産量	48,466kg(H25)	48,000kg	23,718kg	25,635kg	42,665kg				↗		
8	小規模林業活動の技術研修及び安全講習の延参加人数	延べ78人/年(H26)	延べ80人/年	延べ68人/年	延べ40人/年	延べ50人/年	延べ30人/年			↘		総合戦略KPIのみ
9	新規林業就業者数	—	5人/年	4人/年	4人/年	3人/年	3人/年			⇒		

3 水産業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (R6)	H29若しくは直近値	H30	H31 (R1)	R2	R3	達成率等 ※最新値と比較	直近傾向	増減要因等	備考
1	内水面漁業漁獲量	56.0t (H24)	50.0t	49.0t	37.0t	29.0t				↘		
2	海面漁業漁獲量	30.0t (H24)	15.0t	14.0t	13.0t					↘		
3	内水面・沿岸資源の種苗放流	—	維持	—	—	—	—			—		
4	漁業体験研修の受講者数	0人 (H27)	R2～R6の5年間で3人	0人	0人	0人	0人			⇒		
5	漁業協同組合の販売機能	—	強化	—	—	—	—			—		

4 商工業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (R6)	H29若しくは直近値	H30	H31 (R1)	R2	R3	達成率等 ※最新値と比較	直近傾向	増減要因等	備考
1	一次産品等を活かした新商品の開発	25アイテム (H27)	30アイテム/5年	20アイテム	11アイテム	12アイテム	11アイテム			⇒		
2	商店街通行者数 (平日)	4,725人/日 (H22～H26平均)	6,200人/日	5,878人/日	6,208人/日	5,607人/日	5,824人/日			↔		
3	商店街の新規出店数	—	10件/年	3件/年	2件/年	6件/年	5件/年			⇒		
4	道の駅「よって西土佐」入込客数	(H28)	20万人	189,205人	186,924人	189,729人	156,012人			↘		
5	施設の長寿命化・南海地震対策	—	強化	—	—	—	—			—		
6	住宅耐震化率	64.1% (H26)	81.9%	68.2%	69.8%	71.4%	73.3%			↔		
7	シェアオフィスへの誘致企業数	0社 (H27)	2社	0社	0社	0社	0社			—		
8	既誘致企業での雇用者数	30人 (H30)	80人	27人	30人	40人	42人			↔		
9	産業祭来場者数	2,000人 (H25)	40,000人/5年	1,500人	20,000人	3,000人	—			—		
10	商談会等での成約率	20.8% (H30)	25.0%	18.5%	20.8%	30.3%	46.3%			↔		商談件数500件×成約率25%=125件程度を目標
11	創業に関する相談件数	8件/年 (H26)	45件/年	26件/年	30件/年	39件/年	30件/年			↘		

5 観光分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (R6)	H29若しくは直近値	H30	H31 (R1)	R2	R3	達成率等 ※最新値と比較	直近傾向	増減要因等	備考
1	観光入込客数	125万6,000人 (H25)	130万人以上	1,193,182人	1,180,466人	1,194,938人	1,004,518人			↘		
2	市内宿泊者数	21万1,000人 (H25)	25万人以上	196,524人	222,115人	236,426人	183,138人			↘		
3	県内平均消費額 (調査地点:四万十川)	28,869円 (H29)	33,000円	28,869円	27,459円	29,585円				↔		
4	レンタサイクル利用者数	4,307人 (H26)	8,000人	5,719人	4,665人	5,060人	2,369人			↘		
5	広域における一般観光客数	123万8,750人 (H26)	64,500人増	1,193,182人	1,180,466人	1,194,938人	1,004,518人			↘		H30の1,180,466人と比較
6	広域におけるスポーツ客数	9万1,500人 (H25)	12,200人増	136,414人	178,977人	182,587人				↔		H30の178,977人と比較
7	広域組織に求められる5つの機能	—	強化	—	—	—	—			—		①商品の企画・立案②商品の造成・販売、取扱③広報、情報発信、窓口④地域の人材育成⑤観光産業化
8	(一社)四万十市観光協会ホームページアクセス数	119,577件 (H26)	200,000件	141,183件	189,053件	229,214件	162,843人	265,941件		↘		
9	公設観光施設等利用者数	172,370人 (H26)	170,000人	174,927人	162,247人	167,535人	128,018人			↘		
10	二次交通利用者数	5,718人 (H26)	10,000人	6,955人	6,164人	6,513人	3,135人			↘		
11	外国人観光入込客数	1,341人 (H26)	8,000人	4,122人	3,287人	3,473人	461人	186人		↘		
12	観光協会の案内機能	—	強化	—	—	—	—			—		
13	教育旅行受入家庭数	49軒 (H29)	65軒		50軒	48軒	52軒	52軒		⇒		令和3年度から追加
14	広域におけるはた旅体験商品利用者数	20,269人 (H30)	24,200人		20,269人	29,793人	18,036人			↘		令和3年度から追加
15	広域におけるはた旅体験商品数	101件/年 (H30)	100商品/年		101商品/年	104商品/年	107商品/年			↔		令和3年度から追加

6 その他

No.	評価指標	基準値	目標値 (R6)	H29若しくは直近値	H30	H31 (R1)	R2	R3	達成率等 ※最新値と比較	直近傾向	増減要因等	備考
1	移住相談者数	59件/年 (H24～H25平均)	200件/年	205件/年	200件/年	194件/年	112件/年			↘		総合戦略KPIのみ
2	産業振興推進総合支援による新たな取り組み件数	2件/年 (H30)	3件/年	2件	2件	3件	0件			↘		総合戦略KPIのみ

第2期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI進捗状況(基本目標2・3・4)

1 基本目標ごとの数値目標

基本目標	評価指標	基準値	目標値(R6)	R2	R3	R4	R5	R6	増減要因・課題等	
基本目標2	新しい人の流れをつくる	人口の社会増減	▲291人(H26-30計)	段階的に社会増を目指す	▲55					
		市外からの移住者数	29組(H27-30平均)	35組/年	28					
基本目標3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	1.70(H26-30平均値)	1.80	1.66					
		20代・30代の未婚率の減少	平成27年国勢調査の未婚率	令和7年国勢調査の未婚率						
		20代男性	75.0%	72.3%(H17水準)						
		30代男性	41.6%	32.8%(H17水準)						
		20代女性	64.5%	63.1%(H17水準)						
30代女性	27.5%	20.8%(H17水準)								
基本目標4	地域に合った小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民のくらしを守る	本市が住みやすいと思う住民の割合	62.8%(H24)	70%以上	-					
		集落活動センターの設置数	1箇所(H30)	3箇所	1					

2 具体的な施策の重要業績評価指標(KPI)

施策・事業	評価指標	基準値	目標値(R6)	R2	R3	R4	R5	R6	直近傾向	達成率	増減要因・課題等	備考
基本目標2 新しい人の流れをつくる												
1) 移住・定住の促進												
①相談・支援体制の充実												
	移住支援登録数	184件(H27-H30平均)	200件/年	112						56.0%		
	市外からの移住組数5年間の累計	116組(H27-30)	165組(R2-6)	28						17.0%		
	移住推進員の配置	4人(H30)	4人	4	4					100.0%		
	移住サポーター	20人(H30)	30人	27	27					90.0%		
②情報発信と関係人口の拡大												
	移住ホームページアクセス数	14,600件(H30)	30,000件/年	29,389						98.0%		
	移住相談会・移住フェア等開催及び参加回数	8回(H30)	10回/年	6	5					50.0%		
	四万十市ふるさと応援団	3,212人(H30)	4,400人	3,720						84.5%		
③移住・定住環境の整備												
	受入体制整備地区数	4地区(H30)	10地区	4	4					40.0%		
	移住支援住宅整備事業	14件/年(H30)	15件/年	14	14					93.3%		
2) 市外からの人材誘致												
①多様な人材の確保												
	地域とのマッチングによる人材受入数	延べ8人(H30)	20人(延べ)	3						15.0%		
	地域おこし協力隊	8名(H30)	8名	5	8					100.0%		

施策・事業	評価指標	基準値	目標値(R6)	R2	R3	R4	R5	R6	直近傾向	達成率	増減要因・課題等	備考
基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる												
1) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる												
①総合的な結婚支援												
	婚活講座・イベントの開催	6回(H30)	10回/年	5	4					40.0%	R2、R3年度はコロナ感染拡大防止のため、出会いサポート事業(少人数での引き寄せ)を中止するなど影響があった。	
	カップル成立数	26組/年(H30)	30組/年	16	14					46.7%		
	結婚応援団(サポーター)の拡充	10人(H30)	15人	11	15					100.0%		
	出会いサポート事業登録者	45人(H30)	60人	85	94					156.7%		
②安全・安心な妊娠や出産のための支援												
	不妊治療費助成件数	9件(H30)	18件	10	17					55.6%		
	妊娠初期での面談実施率	100%(H30)	100%継続	98.9						98.9%		
③子どもの健やかな成長と発達のための支援												
	生後4か月未満の乳児訪問率	96.6%(H30)	100%	98.1						98.1%		
	乳児健診受診率	93.9%(H30)	100%	93.9						93.9%		
	1歳6か月(9か月)健診受診率	97.5%(H30)	100%	98.3						98.3%		
	3歳児健診受診率	94.8%(H30)	100%	96.7						96.7%		
	3歳児の1人平均むし歯数	0.59本(H30)	0.4本以下	0.68						58.8%		
	12歳児の平均むし歯本数	1.07本/人(H30)	0.50本以下	0.63						126.0%		
④子ども医療の充実												
	乳幼児・児童医療費無料化の継続	中学校卒業まで(H30)	中学校卒業まで	継続	実施	実施				100.0%		
⑤保育サービスの充実												
	低年齢児保育の拡充(0歳児受入)	54名(R1)	17名増	0	17					100.0%		
	休日保育の実施	1か所(H30)	2か所	1	2					100.0%		
⑥地域での子育て支援の充実												
	放課後児童支援員数	27人(H30)	37人	36	41					110.8%		
	ファミリーサポートセンター会員数	75人(R1)	175人	100						57.1%		

施策・事業	評価指標	基準値	目標値(R6)	R2	R3	R4	R5	R6	直近傾向	達成率	増減要因・課題等	備考
基本目標4 地域に合った小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民のくらしを守る												
1) 地域におけるくらしの維持と創生												
①小さな拠点等の整備促進と活動支援												
	集落活動センターの設置数	1箇所(H30)	3箇所	1	1					33.3%		
	地区自らが取り組む地域活性化計画の策定数	4地区(H30)	5地区	4	4					80.0%		
②中山間地域の生活支援												
	生活用品確保支援事業	—	2件(R6まで)	0	0					0.0%		
	生活用水確保支援事業	—	1箇所(R3まで)	1	1					100.0%		
	バス利用者数(地域間幹線線路)	41,607人(H30)	50,000人	37,214						74.4%		
	JR予土線利用者数	408,435人(H27-H30平均)	408,000人以上	316,820						77.7%		
2) 地域で支えあう活動や取り組みの推進												
①住民が住み慣れた地域で、いつまでも安心して健康に暮らせる地域づくりの推進												
	健康福祉委員会の組織率	中村地区 47.6%(H30) 中村地区以外 80.6%(H30)	57.1%	52.4	50.0					87.6%		
	あったかふれあいセンター利用及び支援者数	51,985人(H30)	53,000人以上	44,183						83.4%	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用一部制限等により減少。	
③にぎわいのあるまちづくり												
④安全・安心に暮らすことができる災害に強いまちづくり												
	住宅耐震化率	69.8%(H30)	81.9%	73.3						89.5%		
	防災士の養成数	191人(H30)	300人	242	264					88.0%		
4) 広域連携による魅力あふれる地域づくり												
①広域連携による取り組みの推進												
	観光客入込客数	118万466人(H30)	130万人以上	100.5						77.3%	R2年度は新型コロナウイルスの影響により減少。	
	外国人観光入込客数(観光協会案内者数)	3,287人(H30)	8,000人	461	186					2.3%	R2年、R3年は新型コロナウイルスによる入国制限等で大幅に減少。	
	バス利用者数	181,938人(H30)	15万人	143,305						95.5%		
	土佐くらしお鉄道利用者数(中村・宿毛線)	610,112人(H30)	60万人	397,050						66.2%	R2年度は新型コロナウイルスの影響により定期利用者数が大幅に減少。	